

ハス池の隣で咲き始めたよ。



ハス池の隣で咲き始めたのはミソハギです。これはミソハギ科の多年草で、日本と朝鮮に分布しています。昔は、田んぼの畦とか、湿地などに生育し、お盆の季節にたくさん咲くことから、盆花として仏前に供えられてきたので、別名を精霊花とも言うそうです。ハスの花と共に日本の古い風景を残す、この道で遠い昔の記憶を思い出してみませんか。



御所沼はトンボの楽園

沼の畔にたくさん生えているヨシの周りではヒラヒラビュンビュンと今年もトンボの季節がやってきました。トンボは、稲の害虫や蚊などを食べてくれることから田んぼの神様と呼んでいる地方もあるようです。写真左は、ショウジョウトンボ、右はチョウトンボです。そのほかにヤンマ類やイトトンボ類などもたくさんの種類がいますよ。



芋ころがし坂を飾るのは

春には満開だった桜の花は、いまでは葉が生い茂り、やさしい木陰をつくっています。その桜の木の下でこれから花を咲かせようとしているのはハギです。ハギはマメ科ハギ属の総称ですが、花は7月～10月までの長い期間に渡って咲き、また秋の七草に数えられています。これからはばらく芋ころがし坂を飾ってくれる、この花を楽しみたいですね。

ハス池は大人気

総合公園の夏の代表花は、もちろんハスの花です。公園が出来た当初から親しまれ、もう30年以上になります。総合公園を毎日散歩している人にとってはおなじみですが、ハスは午前7時～9時くらいが一番花が開いた状態です。これから暑い時期が続きますから、是非見るときは涼しい早朝散歩を楽しみましょう。



メガネ橋を流れる水

管理棟から公方様の森へとつづく小路には、小さな橋が架かっています。コンクリート製の土管を2本置いて上に石や砂利を積み重ねて橋にしています。この土管を通る水は御所沼から、公方様の森沿いのヨシの生えた浅瀬を通り浄化されて、汲み上げポンプにより二入川へと送られます、そして二入川の早い流れにより水に酸素が取り込まれ滝となって御所沼に注がれます。そして御所沼のたくさんの命の源になっていますよ。でもこの橋メガネに見えませんか？



上記記事 出典参考: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』